



TITLE:

米國の日本移民問題

AUTHOR(S):

戸田, 海市

CITATION:

戸田, 海市. 米國の日本移民問題. 經濟論叢 1920, 10(5): 645-661

ISSUE DATE:

1920-05-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127658>

RIGHT:

東京帝國大學經濟學會 經濟論叢

第十卷 第五號

大正九年五月一日發行

論說

財産税と租税給付能力……………法學博士 神戸 正雄

[an de Witt に就きて(一)]……………法學博士 財部 靜治

鎌倉時代の家族制度(四)……………文學博士 三浦 周行

時事問題

米國の日本移民問題……………法學博士 戸田 海市

加州土地問題に就て……………法學博士 神戸 正雄

雜錄

船舶能力の發達……………法學士 小島昌太郎

株式の分布と課税……………法學士 汐見 三郎

手形交換所制度論(三、完)……………法學士 大森 研造

好景氣の反動と物價……………法學博士 神戸 正雄

時事問題

米國の日本移民問題

戸田 海市

米國に於ては戰爭中暫らく鎮靜して居つた排日感情が、平和會議に於ける山東問題を導火線として米國全體に爆發したか、之と同時に平素米國の排日運動の急先鋒たる加州に於ては、同州に於ける日本移民の經濟的發展を根柢より顛覆せんとするの運動が起つた。加州に於ける日本移民の經濟的發展の中心は農業就中國藝の農業であつて、移民の過半か之に従事して居るのであるが、既に千九百十三年に市民權を有し得ざる者、即ち實際に於ては同州の日本移民の土地取得を禁止した。然るに爾來日本移民が會社の組織に由り、又は米國生れの子女の名義に由り土地を取得するに至つた爲め、此の如き法の精神に反する土地所得の方法を禁止するのみならず、日本移民の農業經營が主に米人の所有地を借入れて實行せられつゝあるから、更に進んで其借地權をも奪ふて農業上企業者として活動することを全禁せんとするの運動が起り、本年十一月の總選舉を機會と

して右の禁止案を人民投票に由り決せんとしつゝある。同州の事情に通ずる者の多くは此禁止運動が成功するの危険甚だ大なることを恐れて居る。若し此禁止が實行せらるゝことゝなつたならば、同州に於て日本移民が多年の奮闘に由り漸くに築き上げた經濟的地位が全く顛覆せられ、今後は勞働者として働くの外なきに至ると同時に、一旦加州に於て此禁止運動が成功するときは、他の諸州に於ても續々同性質の運動の起ることを豫期せねばならぬ

從來米國に於ける日本移民問題は米國の問題であると同じ程度に日本の問題であると考へられ、従つて此問題を公正に解決するの責任も日米兩國が平等に負擔すべきものと考へられた。其結果として移民に關し何れかの一方が不満足を感じるときは、自國の責任を反省するよりも寧ろ相手國の責任を問はんとするの感情が先つ高まり、多年兩國民の間に相互を批難するの議論が交換せられて來た。例へば米國側からは日本移民の生活程度の低き爲め、勞働者としても小企業者としても、米人と競争して之を驅逐するか故に排日は正當なりと主張し、之に對して日本側は日本移民が低き收入にて米人と競争せる時代は既に過ぎ去り、今日は却つて同種の職業に従事する歐洲移民よりも日本移民が高き勞銀を要求しつゝある場合が多いとの事實を挙げ、又は日本移民の主として従事しつゝある農業は、其生産物の種類より見ても亦其農業を行へる地方から見ても、白人の勞働と住居とに不適當のものも多く、従つて日本移民が白人に對し不當の競争を爲すと主張

するのは事實に反すると反駁し、更に米國側より日本移民は他の歐洲移民と異つて米國に同化せざるが故に、之を排斥するは米國の權利なりと主張するに對し、日本側は米國が歡迎しつゝある歐洲移民の中にも同化し難き者が多く、特に日本移民は教育の程度から見ても、又犯罪の上に現はれたる道德の程度から見ても、歐洲移民の平均に勝れる優良の者であり、其の米國に同化し難き最大原因は、米國が歐洲移民に對しては之を同化するに大なる努力を爲すことを惜まざるに反し、日本移民に對しては人種的偏見よりして公私種々の迫害を加へ、以て自から其同化を拒否するか爲めてであると反駁すると云ふが如く、各相當の根據ある議論を交換して互に相譲らず、彼我共に此問題が新聞雜誌に於て盛んに論せられたのみならず、之に關する幾多の書物も出版せられて居る。然るに近來我國民は此問題に對して次第に靜平の態度を採り、之を以て我國の問題たるよりも寧ろより多く米國の問題であると認むる傾向が強まつて來た。現に今回の排日運動の如く根柢より日本移民の經濟的地位を顛覆せんとする重大の運動が起つても、我國民は比較的靜平に米國民の之に對する態度を眺めつゝある。又之を批評するにしても以前の如く之を我國の直接の利害とするよりも、汎く之を人道上の問題として取扱はんとするの傾向が見へる。是れ即ち此問題を公正に解決する道德上の責任か主として米國民に存することを認めたるものに外ならぬ。何故に我國民が近來此移民問題に對して此の如く靜平の態度を採るに至つたかと云ふに、海外

に於ける我同胞の幸福を希ふの情が衰へたのではないことは論するまでもない。又必しも國民が種種の重大問題に忙殺せられて移民問題を顧るの遑なきか爲めてもない。其根本原因は第一に我國民の海外移住と云へる事實の上に大なる變化を生じたこと、第二に海外移住に關する國民の思想か一般の對外思想及移民を出たす所の下層階級に對する社會的思想と共に大なる變化を來たしたることである。米國に於ける目下の日本移民問題を研究せんとする内外人は須らく先づ我國に於ける上述の二大變化に着眼せねばならぬ

二

吾人は先づ我國の海外移民の事實の上に生じた重大なる變化を指摘せねばならぬ。相當に人口の稀密なる國民が發展の餘地乏しき農業を主たる生業として居る間は、人口の壓迫に苦んで多くの移民を出たすことを必要とするか、工業の進歩するに従つて移民を出たす必要が減する。若し其工業が大に發達するときは、人口増加率が依然として減少を示さるるに係はらず、勞働の需用が一層急速に増加して外國勞働者の來住を促かすに至るを常とする。我國も以前には人口の壓迫に苦んたから、海外移住と云へは其性質の如何を問はずして國民は之を喜んだ。日米の間に紳士協約が成立して我移民の米國に對する新規渡航の困難となつた千九百八年の頃には、此協約は我國に取つて尙ほ相當の苦痛と感せられた。然るに其後我國の工業は可なりの速度を以て進歩した

から人口過剰を感ずることも大に減少し、特に歐洲戰爭以來我工業は急速に膨脹して勞働の需用が激増したから、今日我人口には最早や海外移住の餘裕が多く存在しない。ブラジルの如きは渡航費を給して我移民を招くに係はらず、之に應じて移住する者か甚だ少なきのみならず、近來は國內に於ける勞働缺乏の聲が到る處に起り、朝鮮勞働者の來住が次第に増加しつつある。固より戰爭以來の我工業の急速なる膨脹と之に伴へる勞働需用の激増とは異常の現象であつて、今後不景氣の時代が來たならば幾分か勞働の過剰を生ずるの危險かないではないか、併し我國が商品の輸出と共に多數の移民を出して經濟を維持することを必要とする時代の過ぎ去つたことは疑を容れない。是れ近來我國に於て紳士協約に對する不平の聲が次第に衰へたのみならず、最近に我政府より自發的に寫眞結婚に由る婦女の米國移住を禁止したことに對しても、著しき反對の起らなかつた所以である。固より此等の移住制限は個人的には甚しき苦痛を生ずる場合もあるか、國民全體より見れば別段の苦痛を感じない

過去に於ける我國は甚しく資本の缺乏に苦しみ、有ゆる手段に由て外國より資本を得來るの必要を感じたか、我國には外資の輸入を促かすに最も適當なる未開の天然資源が多く存在しないから、他の後進國の如く自然に外資の流入を見ることが出来なかつた。戰爭前に於ける我國の對外債務は二十億に達して居たと云へ、是は主として日露戰爭に伴ふて起つた政府の公債であつて

不生産的のもてあり、生産的なる民間企業の外資利用は僅少の部分に過ぎなかつた。故に此時代には海外移民よりの千萬圓か二千萬圓の本國送金も非常に重大視せられた。特に我國の貿易は常に輸入超過の傾向が強かつた爲めに、如上の徴々たる移民送金も國際的決濟の均衡を保つに缺くへからざるものと認められて居た。然るに戦争以來我經濟狀態は著しき變化を呈して資本も相當に豊富となり、又國際的債權債務の關係も急激なる輸出超過の爲め我國に有利となり、従つて今日は海外へ労働者を出たすよりも、資本を出して諸外國の開發を爲すことを重要視するに至つた。今日の我國は世界諸國に對して門戸開放を行ふて平和の交通を爲すことを要求しつゝあるか、其の門戸開放の要求とは移民に對して互に門戸を開放することよりも、寧ろ我商品と資本投下とに對して門戸を開放することを意味するのである。

諸外國の天然資源に對する我國民の思想が近來大に變化したことが、一般對外思想の上に著しき變化を來たし、従つて又對外事件としての移民問題の見方にも變化を來たすに至つた。國民の生存に必要な天然資源に缺乏せる我國は、消極的に汎く諸外國より食物原料を自由に供給せらるることを欲するのみならず、積極的に其富源開發の事業に従事することをも希望するのであるか、以前の外資輸入時代には我國より資本を出たして外國の富源を開發することか殆んど不能であつた。故に例へば日露戦争の結果として滿蒙に獲得したる勢力範圍、即ち政治上の力に由り外國の

富源に對して獲得したる獨占又は優先權を經濟上より非常に重要視したか、自國の資力に由り外國の富源を利用する能力の相當に増加した今日に於て、國民は最早や政治上の力に由り外國の富源利用の特權を獲得することを重要視しない。此方法は如何なる場合に於ても世界より猜疑の眼を以て視られ、又實際に國際的紛擾を惹起することを免れないものであつて、富源開發の事業を進行せしむるには大なる妨害である。故に海外の投資起業に付て國民は成るべく政府の干涉に由らずして之を行ふことを希望しつゝあるか、只た未開の天然資源を豊富に領有する所の諸大國か、之を自國民の利益の爲めに獨占して他國に對し之を閉鎖せんとし、之か爲め他の國民の生存が脅かさるゝも顧みざらんとすること、恰も社會的責任を感ぜざる冷酷の富豪か自己の財産を管理すると同様の狀を呈せんとするの傾向の強き爲め、我國民も過去に於て政治上の力に由つて得たる勢力範圍の保持に強く執着するのてある。我國と利害關係の特に密接なる支那か、其の輸出品に對して輸出税を課するのみならず、我國の最も必要とする米に對しては永久的の輸出禁止を行ひ、之か爲めに自國の農業の發展を根本的に阻碍することをも顧慮せざるか如き舊式の政策を固執するのみならず、礦物就中鐵礦の缺乏せる我國の必要を無視して、外國人の支那に於ける鐵業投資を妨害する制度を設くるか如き門戸閉鎖政策を採れることは、實に我國民の支那に於ける既得の勢力範圍の保持を重要視せしむる最大原因である。

以上の如き重大なる經濟上及對外思想上の變化か、我國民の海外移住に關する思想に大なる變化を生ぜしむるに至つたことは當然であるか、此外海外移民を出たす所の階級たる下層民に對する社會的思想も最近に至つて急激の變化を呈し、従つて又國民の移民問題に對する態度にも變化を生ずるに至つた。若しも今日尙ほ我國が年々多數の移民を海外に出しつゝあるならば、國民の對外思想及社會的思想の上に變化が起つても、尙ほ國民は海外移住を以て重大なる國家的利害の問題とせざるを得ないであらうか、既に我國には多くの移民を出たすの餘裕もなく、特に米國に對しては紳士協約及寫眞結婚禁止に由り新たに移民を出たすことの殆んど消滅せんとする今日に於ては、日米間の移民問題は過去に於て移住したる我同胞の幸福に局限せられた問題となるのである。然るに此の過去の移民は今日は半は日本人たると同時に半は米國人であり、従つて之か待遇を如何にすべきやは米國の内政問題たるの性質を帶ふることか強く、以前の如く其待遇の如何か我國より新たに移民を送り出たすの難易に關係を有しない。過去に於て一方に米國は未開の富源を開發するか爲め、特に白人の住居や勞働に不適當なる地方や事業の爲めに日本移民を有用のものとして之を歡迎し、他方には國內に於て生活難に苦しめる我下層民も新世界に於て自己の運命を開拓せんとして米國に移住したのであつて、當時吾人は同胞の海外移住を以て自國の對外經濟的發展の重要な一形式と認める傾向が強く、必しも移民自身の新生活が眞に幸福のものとな

り得るや否やを多く顧慮するの違を有たなかつたのである。然るに今日の吾人は海外移住を以て純粹に移住者の個人的利害の問題であると認め、以前の如く之を以て同時に我國力の對外發展として喜ぶの情は大に衰へた。吾々は最早や我同胞か人種民族の異なる他國に移住し、其社會と能く融和して幸福の生活を營むことの困難なるか如き場合にも、尙ほ我國力の對外發展の爲めに犠牲となつて移住することを獎勵せんとするの意思は絶対に存在しない。否な完全の勞働能力を生じた同胞か海外に去り、其空位を填むる爲めに朝鮮勞働者の入り来る近來の狀態は甚だ憂ふべきものにあらずやとの聲が次第に高まりつゝある。左れば過去に於て米國に移住せる我同胞に關し、吾々は成るべく速かに彼等か米國に同化して其の幸福なる市民となることを希ふの外に何等の要求を有たない。然るに之を同化せしむる根本の力と、從つて其根本の責任とは米國に存するのであつて、吾々は只た間接に此同化を援助し得るに過ぎない

三

我國に於ける海外移住の現象と之に關する國民の思想とは如上の變化を呈して居るか、之と同時に米國に取つても日本移民の處置は最早や之を米國自身の問題として慎重に取扱はねはならぬ時代に入つて居る。然るに一般米人就中排日に熱中しつゝある加州人が果して此事實を意識せるやは大なる疑問である。米國にして一旦日本移民を受入れた以上は、之に對して充分の同情を寄

せ、之と圓滿なる共同生活を營む爲めに充分の努力を爲すことか其の當然の責任である。假りに日本移民は好ましからざる人種なりとして其經濟的向上を妨げ、以て益之を好ましからざる分子とするか如き從來の對日本移民策には相當の理由があるとしても、尙ほ茲に米人の考へざるへからざるは米國に生れたる日本移民の子女は米人であることである。固より此中には未だ米國の國籍を取得せざる者もあつて法律上其の總てか米國民であるとは云はれないか、併し彼等は日本に來つて生活するの能力を有する者でなく、如何に迫害を受けても米國社會の一員として生活せざるを得ざる運命を有する者である。此の如き日本移民の子女は加州に付て見るも既に移民總數の二割を出てゝ居るか、近年日本移民か本國より妻を呼寄せることか急速に増加したから、今後日本移民の間に於ける出生は著しく増加し、久しからずして米國に生れたる子女即ち米人たる者の數か日本の國籍を有する移民の數を凌駕するに至るであらう。今日の如く米國か日本人たる移民を迫害することは即ち米人たる彼等の子女を迫害することに外ならぬ。是れ米國に於ける日本移民の問題か日本の問題たるよりも、より多く米國の問題たる所以であつて、又吾々か米國の迫害政策を見るにも之を我國家の利害問題とするよりも、寧ろ汎く人道問題とする所以である。

加州に於ける日本移民の過半は特種の農業に其長所を發揮して米國の生産に貢獻しつゝある。若し米國か之を他國の移民と同様に待遇するだけの度量があつたならば、日本移民は一方に本國

よりの新規移住の消滅に由りて次第に本國との交渉が稀薄となり、他方には米國に生れて米國に教育せられたる彼等の子女の増加に由りて次第に米國との交渉が濃厚となり、以て自然に米國化するに至るのである。特に彼等は勤勉なる農民であるから其間に有地農となり又借地農に成功する者が増加して労働者たるの地位を脱し、以て米國の健實なる中層階級の一部を爲すに至るのであるか、不幸にして從來米國は日本移民の向上に對し種々の妨害を加へ、特に千九百十三年には土地所有を禁し、今回は更に有地農としても借地農としても獨立企業者たることを不能ならしめ、即ち彼等の長所を發揮することを妨げて故らに之を貧困無智の人間たらしめんとしつゝある。彼等の子女は米國人であり乍ら其親と共に此の如き迫害を受け、米國を愛し得ざる不幸の人間として生長せざるを得ないのである

米國は人口増殖力の盛んなる一千萬人の黑人を有する上に、同化の困難なる歐洲の雜多民族よりの移民を有し、特に最近には此等の移民が過激なる労働運動の重大の要素となつて米國の地位を困難ならしめつゝあることは、吾々の米國に對して大に同情する所である。故に吾々は此上に我國より新規移民を送り出して米國の困難を一層甚しからしむることを欲しない。是れ吾々が紳士協約を忠實に實行し、又最近には自發的に寫眞結婚に由る婦女の渡航を禁止した所以である。然るに米國が依然として日本移民に對する從來の迫害を止めざるのみならず、更に益其迫害の度

を甚しくし、以て米國社會の構成上健實なる分子となり得へき者を故らに劣惡危險の者たらしめんとするか如き、自殺的にして又非人道的なる政策を採らんとしつゝあることは吾々の理解し得ざる所である。故に我國の問題たるよりもより多く米國の問題となれる在米日人の待遇に關し、吾々は妄りに米國の行動に干涉することを欲する者ではないか、併し吾々は在米日本移民問題か上述の如く我國に取つて意義を一變したると同時に、米國に取つても意義を一變したることを米人に警告して其反省を促かすことは、米國の友邦としての吾々の責任であるを信する

四

多くの米人は我國を以て以前の獨逸及露國と共に世界の軍國主義を代表するものと信し、此の如き國民か米國に多數來住することを以て危險なりと感じたことか、過去に於て米國の排日運動の重要な理由となつて居たやうである。我國を以て以前の獨逸の如き軍國主義的國家とすることは固より正當の見解でない。我國民は日露戰爭までは常に獨逸と結び付きたる露國の極東侵略策の爲めに脅かされ、又日露戰爭以後は資本の過剰に苦しめる先進國か露國の兵力に代はり、其財力を以て幼稚なる極東方面に勢力範圍を割取し、結局武力的侵略と同様の結果を生ぜしめんとすることに對して非常の脅威を感じ、有ゆる手段に訴へて之に對抗せんとしたのであつて、其手段か騎虎の勢に由り防禦より攻撃に移る嫌のある場合に、國民は常に之を批難した。以前我國に於

て國民の官僚政治に對する不斷の攻撃の一大原因は實に此の如き意味を有したのである。併し國際間に於て互に理解し同情することは甚た困難な事柄であるから、米國民が我國に對して此の如き誤解を有したるは怪むを要しない。特に米國は過去に於て國防が甚た不充分であつたから、日本人の移住に對して不安を感じたことは當然であるか、歐洲戰爭以來米國の事情が激變した爲め、今日の日本人は米國の極東に對する經濟的武力的帝國主義の跋扈する危險を恐るゝこと、恰も以前に露國の武力的帝國主義に脅かされたと同様の狀を呈しつゝあることを、吾々は茲に率直に米國人に告げねばならぬ

我國は國防に必要な錢を有せず、艦隊の運動を有効ならしむるに必要な石油も甚た不充分であり、又新時代の戰爭に必要な大規模の工業動員を行ふには、工業の發達が尙は甚た不充分であることは、國民一般の深く感じつゝある所である。従つて今日の我國民は軍備を以て必要止むを得ざる防禦手段と認むるも、之を以て積極的發展の手段と見做す思想は存在しない。又平和會議の決定せる國際聯盟の規定が甚た不完全であることを認め乍らも、國民は此の如き世界の平和を保障せんとする制度の成立に對しては衷心より之を歡迎して居る。固より我國に今尙ほ軍國主義的勢力が幾分か存在することを拒むを得ないか、此勢力たる實に國民が懷く所の如上の對外不安の念に依頼して僅かに存續するものであつて、而も此不安の原因たるや今日は主として米國の

態度に存することも拒めない事實である。戦後歐洲の諸大國は軍備の制限に努力しつつあるに係はらず、獨り米國が急速力を以て偉大なる海軍を建設し、且つ太平洋に於ける諸領地の防備に巨大の經費を投しつつあると同時に、國際聯盟に對し俄かに冷淡の態度を採るに至つたことは、決して獨り日本國民をして不安を感じしむるに止まらない。久しからずして太平洋岸の諸國民が今日の我國と同じ程度に米國の脅威を感じるの日に來るであらう。今日米國に對しては無限の信任を示しつつあるか如く見ゆる支那人の間にも、米國の海軍大膨脹に對する疑惑の念の萌しつつあることを發見するに難くない。米人は極東に於ける我國の行動を總て攻撃的意思に出つるものゝ如く解し、實際には防衛的意思の發動に外ならぬことを解し得ないやうであるか、假りに地を代へて日本の宣教師新聞記者の多數が米國南部の黒人州に入り、米人の虐待に對し黒人を保護することか日本の天職であるか如く主張し、米國の對黒人政策に無理解の批評を下たすこと、恰も今日米人の朝鮮に於けるか如き狀を呈し、又は日本の公人私人が多數墨西哥に入つて同國人の反米感情を煽動すること、恰も今日米人が支那に入つて不謹慎の行動を爲すか如くてあつたならば、米人は果して如何なる感を生ずるであらう。吾々は米國の驚くべき海軍擴張に對し強て抗議せんとする者ではないか、此海軍擴張を理由付けて米國民一般の同意を求むる爲め米國に於ける一部の人士が我國を以て侵略的野心を有し且つ侵略の實力をも備ふるものゝ如く一般米國人

に信せしめんとし、我國に對して往々不謹慎の言議を逞ふすることに對して吾々は抗議するの權利がある

凡そ一國に於て内部の闘争が盛んとなれる場合に、國民の結束を固くする爲め民心を外部に轉向せしめんとするの政策は古來各國に於て殆んど本能的に行はるゝ所であり、特に短見なる政治家は妄りに此種の政策を弄して國際間の平和を攪亂するの弊に陥り易いものである。戦前に於て獨逸や露西亞が侵略主義を採つた重大原因の一是、國內に於て年々激烈となれる社會的不安を鎮靜せんとすることであつた。英國に於ても戦争の初めには貴族富豪の子と勞働者とか寢食を共にし、相扶けて祖國の防衛に當ることか、從來の階級的疎隔を除きて社會的平和を齎らすものであると云ふか如き説の多く現はれたことを見れば、英國の參戰にも幾分か此種の政策的意義が交はつて居たやうである。既に本誌に於て論じた如く支那の目下の排日運動の如きも、年來の混沌たる内争より脱出するか爲め、排日運動を盛んにして汎く國民的精神を鼓舞せんとするの思想か、黨派心に左右せられざる青年愛國者の間に現はれて居る。目下米國に於て過激なる社會的運動が起つて人心を不安ならしめて居るから、或は其政治家の内には民心を外部に向はしめ、就中日本に對する敵愾心を昂奮せしむることに由り、國內の社會的闘争を鎮靜せしめんとする者が起るかも知れぬ。之と同時に我國に於ても昨年來急速に社會的不安が起りつゝあるから、我國の政治家

の中にも同様の手段を採らんとする者が現はれるかも知れぬ。併し乍ら此政策は姑息なる一時の魔酔の方法であつて不當に他國を害するのみならず、自國の社會的不安の防止にも何等永續的効果を生ずるものでなく、却つて益之を甚しからしむる拙策であることは、現に歐洲戰爭に参加した諸國の社會的不安の戰後急激に増進した事實を見ても明かである。日米兩國民は此の如き短見なる政策の爲めに自他を害するの危險に對し此際大に警戒せねばならぬ

日本に於けると同じく米國に於ても保守的な帝國主義的意見か或程度の勢力を有することは爭はれない。只た此點に關する兩國の差異は、我國に於ては最早此主義が衰退期に入りつゝあるに反し、米國に於ては戰爭參加の爲めに初めて有効なる軍備を有するに至つたことゝ、此戰爭の爲め海外に投下し得へき巨大の資力を積み得たることゝに由つて、帝國主義が新たに生長せんとしつゝあることである。併し帝國主義なるものゝ本質は曾て本誌に論じた如く國際間に於ける專制主義である。故に今日の如く後進の國民民族が急速に覺醒するに従ふて國際間にもデモクラシーを實行することが必要となるは、恰も一國內に於て下層階級の覺醒に伴ひ政治上社會上にデモクラシーを必要とするに異ならぬ。帝國主義は十九世紀に於けるが如く二十世紀に於ても世界人類の共同生活を支配するの勢力たることは不可能であつて、日米兩國に於ても覺醒しつゝある民衆は決して此主義を擁護せんとするものではない。故に移民問題支那問題等に關し日米兩國の間に

於ける從來の疎隔を除き、世界の平和確立に對して相共に協力するか爲めには、是非とも兩國の覺醒せる民衆が相互を理解することが出来なくてはならぬ。此目的の爲めには國民的意思を疏通するに付て從來よりも更に有効なる方法が設けられねはならぬ。從來の意思疏通の方法は餘りに斷片的であり、又偏見を有する一部人士の仲介に由て事實の真相が國民の耳目に達すること出来難かつた。英國政府が對印度政策を決するに方つて印度在住の英人の意見を偏重するときは失敗に終ることか多かつた。我國が對支那政策を定むるに付ても支那在住の邦人即ち支那通と稱する者の意見を主たる媒介として支那を觀察した爲めに失敗した例が多い。米國が極東政策を定めるに方つても餘りに多く極東に在住する米人の意見に重きを置くの誤りに陥ることを避けねはならぬ。